

孤立・孤独死防止対策 「みんぷく」の働きかけ

- 孤立しやすい人の特徴とみんぷくの働きかけ
「ゆるやかなつながり」の創出

みんぷくの活動紹介

みんぷく本部（業務目標、コロナ禍が孤立を加速する問題）

いわき拠点（見回り活動と孤独死防止講話）

南相馬拠点（近隣地域とのお付き合い、交流会やサークルのサポート）

特定非営利活動法人 みんぷく

生活拠点コミュニティ形成支援業務、事業総括 赤池孝行 2021.11.8

孤立しやすい人の特徴

男性・高齢・独居

これまでもお茶会には出てこなかった

- ①仕事をしていない
- ②団地内、地域で役割が無い
- ③趣味が無い



閉じ籠りがちである



存在が見えにくい



何日も様子がわからない

みんなの働きかけで...

様子がわかるようにするだけでも

人とのつながりを無くすことから始まる「孤立」

昭和時代の町内会（向こう三軒両隣といった親しい近所付き合い）
今はなく、地域の繋がりの減少と家族関係の希薄化が進んで、
地域の支え合う力が低下している。 で、あるならば...

みんなの働きかけ・・・誰かが・誰かを気にかけている状況を作り出す
健康維持・気分転換、教養娯楽などを目的に、積極的な外出のすすめ
・サークル参加、散歩や立ち話（趣味、防災散歩、世間話、草花鑑賞）



人が見かけるチャンス、外部から「存在」を確認できる



ゆるやかなつながり

という視点を持って、みんなが「人と人の繋がり」
を取り戻す、お手伝いをします
住民相互の目配り、気配り、助け合いの状況を
創出していきます

2021年度、本部と4拠点の業務目標

- ①自治会形成
- ②町内会への参加 + 孤独死防止
- ③防災意識の醸成



コロナ禍では人が集まる機会が失われ、これまで以上に孤立や孤独死の問題が深刻化している。

受託業務の3つの目標だけでなく、孤独死防止のための活動を新たに追加した。

いわき拠点 ①見まわり活動

4月～9月までの見まわり回数

◆月に2回～3回実施

◆確認内容は

集合→郵便物の溜まり具合

玄関先の清掃

配達品回収具合 など

ベランダからの異常

戸建→郵便物の溜まり具合

庭先の手入れ

窓からの異常 など



郵便物が溜まってないか確認

団地名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
湯長谷団地	3	2	3	2	2	2
下神白団地	3	2	2	2	2	2
八幡小路団地	2	2	3	2	2	2
家ノ前団地	1	2	2	2	2	2
関船団地	3	2	2	2	2	2
宮沢団地	2	2	2	2	2	2
大原団地	3	2	2	2	2	2
高萩団地	1	2	2	2	2	2
平赤井団地	4	2	2	3	3	2
下矢田団地	1	2	2	2	2	2
中原団地	1	2	2	2	2	2
四ツ倉団地	1	2	3	2	2	2
勿来酒井団地	3	2	2	2	2	3
北好間団地	3	2	2	2	2	2
磐崎団地	2	2	2	2	2	1
泉本谷団地	2	2	2	2	2	2
下北迫団地	1	2	2	2	2	3
合計	36	34	37	35	35	35

いわき拠点②孤独死の防止講話

「こころもからだもリラックス」

- ◆ 孤立死・孤独死の未然防止講話とハンドマッサージを**心のケアセンター**の協力で実施した。
- ◆ 講師が参加者に質問を投げかけて会話しながら講話が行われ、終始和やかな雰囲気の中で進められた。
- ◆ ハンドマッサージはハンドクリームを使用し、セルフケアを学んだ。
参加した方が他の方に伝えて一緒にマッサージをする場づくりに繋がってほしい。

香りのいいハンドクリームで
セルフマッサージ



下矢田団地 R3. 6. 10

「参加してよかった」
「手が動くようになった」
とみなさん笑顔に！

南相馬拠点 ①地域連携支援(近隣地区の組長と顔合わせ)

牛越団地・北原団地では、近隣地域との関係づくりの第一歩となる。
クリーンデーの参加をきっかけに、区長や組長との顔合わせ会を実施した。



牛越団地 8月25日
牛越行政区1組 小元組長と顔合わせ
※牛越は役員のみクリーンデーに参加した。



北原団地 9月11日
北原行政区 小沢区長と顔合わせ
※北原は入居者の有志がクリーンデーに参加した。

南相馬拠点 ②交流会・サークル支援の状況

北原団地では
毎週水曜9:00～
グランドゴルフ交流会実施



西町団地では
毎月第2・4火曜10:00～
手芸サークルを実施



定例の交流会が
馴染んできた段階で
コロナ情勢により
交流会が度々休止



そんな中、**南相馬市社協**と一緒に
ラジオ体操をするなどの交流は
行っている

これらの「みんなで親睦を深めましょう」という交流活動を
大切にしながらも、広範囲な団地運営の支援を行いたい。

まずは《私達の団地を、私達で管理する意識向上》が必要不可欠

→例えば、団地の一斉清掃、広大な芝生の草刈り、防災・消防訓練...
などといった取り組みから、団地入居者の交流に繋がると考える。